

保護者のみなさまへ

～「令和5年度すくすくウォッチ」の結果について～

河内長野市立長野小学校

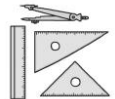
### 《基本的な考え方》

すくすくウォッチは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とし、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章や情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取組みです

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



### 《調査結果の取り扱い》

今年度のすくすくウォッチの結果と分析を提供いたします。

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。



### 《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張っ克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にしていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないように、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。

## 1. すくすくウォッチの概要

### [1]国語について

#### 【概要】

本校の平均正答率は知識・技能及び思考・判断・表現において、どちらも府の数値と比べて概ね高い結果となっている。

#### 〈特に成果がみられた問題〉

文法の修飾語と被修飾語、主語と述語の関係を捉える問題、接続語の問題に関しては、府の正答率から5%以上上回っている。言語についての基本的なきまりが定着していると考えられる。

朝の時間の学習においてことばのカプリントを活用するなど、繰り返し言語についての学習に取り組んでいる結果の表れと考えられる。

#### 〈特に課題がみられた問題〉

故事成語を問う問題は、正答率が低いうえに府の正答率を下回った。授業の単元で学習した後、触れる機会が少ないことや、日常生活の中で触れる機会が少ないからではないかと考えられる。

また、指示語を問われた問題では、正答率は85%を超えているのだが、府の正答率を下回っている。文の中で多くの情報がある場合に、最後まできちんと読めずに指示語を選び損ねたのではないかと考えられる。

接続語でつながった一文を二文に分ける問題も府の正答率を下回った。作文指導において、書くだけではなく、必要な条件を加えたり、文字数を意識できる工夫をしたりするなど取り組みたい。

評価の観点別	学校の平正答率	大阪府の平均正答率
知識・技能	80.8%	78.3%
思考・判断・表現	85.2%	82.4%

### [2]算数について【概要】

知識・技能は大阪府より0.5%、思考・判断・表現は大阪府より2.7%と、どちらも大阪府より高い結果となった。また、大阪府と比べて「図形」の区分では5.4%、「データの活用」の区分では2.4%高い正答率となった。しかし、「数と計算」の区分では1.3%、「測定/変化と関係」の区分では1%低い正答率であった。

評価の観点別	学校の平均正答率	大阪府の平均正答率
知識・技能	48.5%	48.0%
思考・判断・表現	13.8%	11.1%

#### 〈特に成果がみられた問題〉

割り算を使う問題の場面を理解し立式し、商を求める問題についての正答率が75.6%と高い結果となった。また長方形と正方形の面積の求め方を理解し、2つの面積の差を求める問題についての正答率も75.6%と同様に高い結果となった。この2つの正答率が高くなったことは、数と計算の分野や面積の分野の公式や基本的な知識が定着していたためであると考えられる。参考になる図や表がある問題や、基礎的な問題については正答率が高い傾向にある。朝の学習の計算タイムで基礎的な学力がついてきたと考えられる。

#### 〈特に課題がみられた問題〉

全体的に記述式の問題は正答率が低かった。また、問題文やグラフから読み取れる情報をも

とに考え、その求め方を説明する問題では、正答率が11.8%であった。棒グラフと折れ線グラフから読み取ったことを基に答えを出す必要があったが、それぞれのグラフを読み取れても、問題で聞かれていることに対する答えを出すことができずに、間違った日数を書いた回答が75.6%もあった。グラフの読み取りができて、活用して答えを導きだすことに課題が見られた。

その他、正三角形や四角形の性質を理解し、組み合わせた形を考え、その理由を説明する問題では、正答率が3.9%と非常に低かった。四角形の特徴を捉えているが、三角形の特徴と比較して記述できていなかった。また無回答も12.6%であった。

### [3]理科について

#### 【概要】

知識・技能の問題は、大阪府下で、平均正答率が60%を切り、本校も55.4%と低かった。思考・判断・表現の問題は、大阪府下で、平均正答率が70%を超えおり、本校も約70%の見童が理解していると考えられる。『エネルギー』を柱とする領域は、大阪府下で、平均正答率が70%を切る中、本校は府を2.3%下回っていた。『生命』を柱とする領域は、大阪府下で、平均正答率が60%を切る中、本校は府を1.2%下回っていた。

評価の観点別	学校の平均正答率	大阪府の平均正答率
知識・技能	55.4%	57.6%
思考・判断・表現	72.9%	73.2%

#### 〈特に成果がみられた問題〉

季節による植物の成長の違いを観察カードから考え、書き表す問題では、府を5.4%上回っており、記述式の問題は正答率が低くなる傾向のある中で、正答率が比較的高い結果となった。これは、植物の成長と季節の変化を関係付けて、理解することができていると考えられる。また、昆虫の体のつくりについて問う問題では、準正答率を含めると、府を5.3%上回っており、自然に親しみ生活経験を通して、生物への理解を深めることができていると考えられる。

#### 〈特に課題がみられた問題〉

乾電池のつなぎ方と豆電球の明るさを問う問題が最も正答率が低かった。つなぎ方を覚えていても、関係付けて問題解決する力がついていないと考えられる。実験を通して、事象を関連づけて考える力をつけていきたい。理科では生活に密接な内容も多いので、子どもたちが興味をもったものを自身でさわったり、観察したりできるように、すぐに機器が使い、理科を身近に感じられるように、理科室の環境を工夫する取り組みをしていきたい。また、理科における重要語句をしっかりと習得するために、タブレットなどを使って復習問題に取り組んでいきたい。

### [4] 【わくわく問題】(教科横断的問題)について

観点別	学校の平均正答率
A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	76.0%
B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	52.3%
C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	71.9%
D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	66.2%
E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	91.4%

## 【概要】

観点別に見ると全ての項目で平均正答率が大阪府平均より高い結果となっている。中でも区分Dの「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える」区分Eの「興味関心のある事柄について意欲的に工夫して相手に伝える」で高い数値となっている。また、無回答率が低かった。

### 〈特に成果がみられた問題〉

学校生活の中で気になることについて考える問題では、図や表から問題を読み取り、自分で考えたことを、理由を明確に文章で伝える力がついていることが伺えた。正答率は府平均より8ポイントほど高い問題が2つあり、読み取りや記述問題に普段から取り組んでいる成果が見られた。

### 〈特に課題がみられた問題〉

条件付き記述式問題の正答率は、大阪府平均より4～5%低い。これは、問題の条件によって、文章中から答えを導き出したり、情報を整理したりして、文章でまとめる力に課題があることが伺える。また、条件付きの問題や複数の資料からの読み取りなど、子どもたちが苦手としている問題も日頃の学習に取りたい。

## [5]児童アンケートについて

### 【概要】

アンケートの結果から、5年生の子どもたちは友だちとかかわることが好きで、係活動に対しても積極的に参加しようとする意欲が見て取れた。

### 〈特に成果がみられた問題〉

「自分の考えをノート等にも書いている」の項目では、昨年度の教員全員で行ってきた校内研究の成果が表れ、昨年度からも8.5%も向上し、府との比較でも、10.1%も上回っていた。また、自分の考えだけでなく、先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノートに書き留める児童も、昨年度から12.1%、府との比較でも8.4%向上している。授業改善の取組みから、書くことへの意識が高まってきていることがうかがえた。

「自分にはよいところがあると思う」の項目における肯定的な回答は85.2%、「頑張り屋である」の項目におけるそれは63.3%であった。一方で、「あなたは困ったときに相談できる友だちがいる」の項目では、90%を超えており、周りの友達に対して優しい心を持っていることがわかる。学校生活における様々な場面で、相手の気持ちを考えるよう指導している取組みの成果と考える。自分も大事だと思える自己肯定感も高められるよう指導を続けたい。

### 〈特に課題がみられた問題〉

「話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている」の項目では、昨年度から1.8%、府との比較でも4.4%低かった。自分の考えをもつことができている、それを友だちの考えと比較し、深めたり広げたりすることに課題がみられた。考えを書くことに対して改善が見られるので、めあてとふりかえりの充実や、友達の考えや意見から新しい発見や学習が深まるような取組みを研究していく。さらに対話的活動を通じて、相手の意図や考え方を共感し、自分の考えを深められるように改善していく余地がある。

## 2. 調査結果を受けて

### [1] 学校が重点的に取り組んでいくこと

記述式に課題がみられました。記述するには、複数の資料や情報を読み取り、活用し、自分の考えを書く必要があります。引き続き、本校が重点的に取り組む内容として、自分の考えをまとめたり伝えたりするなど、表現力を育む授業作りを行っていきます。日頃から児童が答えを導く過程や情報の精選を大切に学習活動を行えるように、取り組んでいきます。

- ・自分の考えをまとめたり解決方法を出したりすることができる授業づくり
- ・言語活動や学び合いの中で、関わり合いながら高め合っていける授業づくり
- ・決まった時間に決まった場所で学習できる手立てとなる、家庭学習の手引きの啓発
- ・効果的な指導のために、児童の長所と課題について、学校全体での共通理解
- ・情報機器が効果的に活用できるようにするための情報モラル学習の充実

### [2] 児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- ・宿題以外にも復習をしましょう。

中学校に向けて計画を立てて勉強する習慣を身につけてほしいと思います。予習復習が学習のカギとなってくるので、出された宿題だけでなく、自学自習する習慣をつけましょう。

- ・得意なことを伸ばしましょう。

情報機器を効果的に正しく活用し、身の回りだけでなく広く社会の様々な情報を収集し、興味関心のあるものを見つけ、主体的に取り組むようにしましょう。

- ・基本的な生活習慣を身につけましょう。

食事や睡眠時間だけでなく、ゲームやパソコン、テレビ等を見る時間も自分で管理しましょう。

### [3] 保護者のみなさまに協力してほしいこと

- ・宿題のサポート

内容が高度になってくる分、理解度が不十分で宿題に取り掛かっても、自力で最後まで解けない児童がいます。宿題のサポートをしてもらえると、子どもが自信をもって登校できるようになるのではないかと思います。

- ・学習習慣を定着

アンケートの結果から、家庭学習の時間が平均的に少ない傾向がありました。家庭学習の手引きを作成して配布しておりますので、参考にいただき、一定の時間自ら考えずんで学習することができるよう意識した声掛けや学習環境づくりをお願いします。家庭学習の習慣をサポートしてもらえると、中学校に向けて自分で学習するという習慣がつかます。

- ・規則正しい生活習慣

規則正しい生活リズムにしてあげてください。特に1日3時間以上スマホ、パソコン、ゲームなどを使用している児童が約36%を超えていることが気になります。使用時間におかれましても、ルールや約束の再確認をお願いします。

- ・子ども達との日常会話の充実

日々の生活の中で、お子さんとじっくりと話せる時間はなかなか取れないかもしれません。ぜひ、その日学校であったことを聞いてあげてください。楽しかったことも、心にひっかかっていることも、おうちの方に聞いてもらうことで子どもたちは安心して、また次の日に登校できると思います。また、お子さんの小さな変化に気づくきっかけになるかもしれません。